

参考見積募集要領

次のとおり参考見積を募集します。

令和元年7月29日

独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社長 北牧 正之

1. 目的

この参考見積の依頼は、関西・吉野川支社淀川本部中津川管理室で発注予定、変更予定業務の積算の参考とするためのものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1)水資源機構における令和元・2年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2)営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3)当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

- (1)参考見積書は別紙「見積一覧表」の単価、受入条件・基準等の欄に記載して提出して下さい。
- (2)提出期間 令和元年7月29日(月) から令和元年8月9日(金) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3)提出先
独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社長 北牧 正之 宛
【担当】 関西・吉野川支社 淀川本部 中津川管理室 鈴木
〒554-0001 大阪府大阪市此花区高見1丁目10番46号
TEL 06-6462-7701 FAX 06-6462-1099
- (4)提出方法
書面は持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

別紙「見積一覧表」を参照願います。」

5. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1)提出期間：令和元年7月29日(月) から令和元年8月9日(金)
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2)提出場所：1.(3)に同じ。

(3)提出方法：1.(4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1)閲覧期間：令和元年7月29日(月) から令和元年8月9日(金)
まで

(2)閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

別紙「見積一覧表」

①単価見積り

試験名	規格	単位	予定数量	単価	適用
鉄筋腐食状況調査 (自然電位法)	評価基準 ASTM876規格	箇所	19		

②歩掛見積り

作業項目	歩掛内訳	単位	単価	適用
既存調査（鉄筋腐食状況調査も除く）以外に必要な調査項目、調査を実施するために必要な措置についての整理	人件費 主任技術者 技師長 主任技師 技師（A） 技師（B） 技師（C） 技術員 経費（雑費等）	人 人 人 人 人 人 人		
耐久性保全対策（案）の策定	人件費 主任技術者 技師長 主任技師 技師（A） 技師（B） 技師（C） 技術員 経費（雑費等）	人 人 人 人 人 人 人		

※人件費は技術者を記載しているが、他あれば追加記載してください。

なお、技術者の定義は、国土交通省が公表している「平成31年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

※経費等あれば追加記載してください。

※既存調査以外に必要な調査項目、調査を実施するために必要な措置についての整理
耐久性保全対策（案）の策定
についての業務内容

構造物耐久性将来予測を行い、耐震補強工事を実施した時点の構造特性を維持するための対策を立案するため、上記調査以外に必要な調査項目、調査を実施するために必要な措置について整理し、本業務の範囲内で耐久性保全対策（案）を提案する。
なお、追加調査結果がないと耐久性保全対策（案）の策定ができない場合は、耐久性保全

対策（案）の策定は行わない。この場合設計変更の対象とする。

追加調査を実施するために必要な措置の検討においては、除塵設備と柱との距離が狭く調査に支障が生じることも予想される。以下に示す除塵設備の整備計画をもとに、調査の可能な時期、調査条件を整理し調査計画を検討すること。

R3年度

除塵機3号整備工事（塗替塗装、スクリーンバケット取替、下部スプロケットブッシュ取替、下部チェンガイド取替、テークアップ装置取替、カバー取替、洗浄ポンプ更新、流電陽極棒取替）

R4年度

除塵機1号整備工事（塗替塗装、スクリーンバケット取替、下部スプロケットブッシュ取替、下部チェンガイド取替、テークアップ装置取替、カバー取替、洗浄ポンプ更新、流電陽極棒取替）

R5年度

除塵機4号整備工事（塗替塗装、スクリーンバケット取替、下部スプロケット端末軸・ブッシュ取替、下部チェンガイド取替、テークアップ装置取替、洗浄ポンプ更新、流電陽極棒取替）

R6年度

除塵機2号整備工事（塗替塗装、スクリーンバケット取替、下部スプロケットブッシュ取替、下部チェンガイド取替、テークアップ装置取替、洗浄ポンプ更新、流電陽極棒取替）

なお、耐久性将来予測は、以下より構成する。

①計画準備

業務に必要な資料等を収集・整理し、内容を把握・理解したうえ、調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査を行う。

②事前調査

施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集、整理し診断評価の基礎材料とする。

③劣化要因の推定

事前調査及び現地踏査結果、環境条件等を基に、性能低下の推定を行う。

④調査計画立案

事前調査、現地踏査及び施設の重要度等を勘案し、今後の調査計画及び調査手法を設定する。

⑤健全度（耐久性）評価

調査結果に基づき、現況施設の健全度（耐久性）の判定を行う。

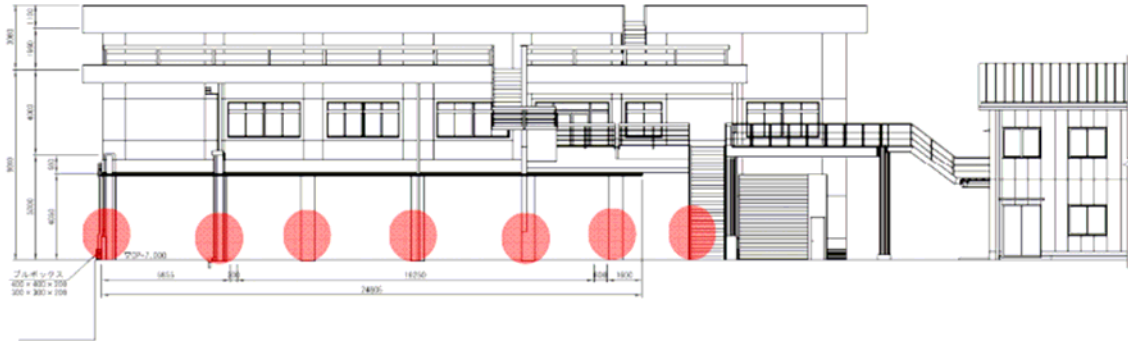
⑥耐久性低下予測

劣化要因の推定結果、健全度（耐久性）判定結果等を踏まえ、耐久性低下予測を行う。

施設図、調査箇所図

調査箇所図

(高見機場北立面図)



試験項目	柱①			柱②			柱③			柱④			柱⑤			柱⑥			柱⑦			箇所数	
	東面	西面	南面	東面	西面	南面	東面	西面	南面	東面	西面	南面	東面	西面	南面	東面	西面	南面	東面	西面	南面		
鉄筋腐食調査	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19

